

出演団体紹介

《那須拓陽高等学校疏水太鼓部》

疏水太鼓部は、昭和59年度からクラブ活動として始まり、現在に至るまで校内外の様々なイベントに参加しています。
那須野ヶ原疏水太鼓保存会メンバーから愛情あふれる厳しい指導を受け、練習に励んでいます。

《子ども疏水太鼓実行委員会》

子ども疏水太鼓は、昭和61年に青少年地域活動ふるさと運動事業の導入により発足しました。
現在は、西小学校の4年生から6年生を対象に毎週金曜日の夕方、那須野ヶ原疏水太鼓保存会の指導のもと太鼓技術の習得に励んでいます。

《那須野ヶ原疏水太鼓保存会》

那須野ヶ原疏水太鼓は、旧西那須野町の開拓100年を記念して、私たちのふるさとに新しい郷土芸能をつくろうと企画・創作され、昭和58年に発足しました。日本三大疏水のひとつ、那須疏水の開拓の歴史を太鼓の音と動きで表現しています。
「100年続く郷土芸能を」という気持ちで日々練習を積み重ねています。



《東那須野おはやし保存会》



昭和55年に設立。設立当時は、東那須野地区盆踊りのために東那須野公民館で行って来ました。平成17年に東那須野おはやしクラブを設立し、盆踊り、出陣式、公民館まつり等が子供おはやしクラブの活動の発表の場となりました。

《関谷子供囃子保存会》



関谷温泉の入り口の関谷宿に江戸時代末期から伝承されるお囃子。保存会は昭和53年に結成。
昨年は地区の天王祭のステージと山車で披露。その他、学校や道の駅等で公演を行っています。

《流響塩原太鼓》



平成6年度に旧塩原町の「ふるさと創生事業」で設立。塩原を流れる箒川の源流から下流までを四季を織り交ぜ5曲の組曲となっている。
旧金沢小学校の体育館で練習しています。

《三島おはやし会・三島こどもおはやし会》



昭和63年、三島おはやし会発足。こどもおはやし会は、平成3年発足。毎週、月・金曜日に三島ホールの音楽室で練習しています。



《遅沢ばやし保存会》



明治15年頃に、村祭りで賑わいを演出する「遅沢囃子組」を結成したことが始まりです。現在は、貴重なお囃子を後世に残そうと地元小学生等への伝承活動を行っています。

《黒磯巻狩太鼓》



源頼朝公が行った巻狩の情景を太鼓の音で再現したものです。五曲の組曲で構成される、太鼓によるシンフォニー（交響曲）となっています。
平成2年に設立し、市の行事をはじめ県内外での演奏の他、自主活動として福祉施設への慰問演奏や小中学校の学習支援を行っています。

《太夫塚八木節笠踊り保存会》



現真岡市の旧大内村からの入植者が大正13年に旧大内村の「八木節笠踊り」を地域に伝授し、太夫塚神社例大祭の余興とし踊ったことが始まりです。その後、太夫塚開拓100年祭を機に小学生を踊り子とする太夫塚八木節笠踊りが復活。それ以降、太夫塚神社例大祭で踊っています。